

作成日 2024 年 12 月 6 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名： β アミノイソ酪酸と乳がんの予後に関する研究

1. 研究の対象

2022 年 6 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日に当院で乳がんの治療のために入院され、入院中の血液サンプルの包括的利用に同意された方

2. 研究期間

研究実施許可日 ~ 2028 年 3 月 31 日まで

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2025 年 1 月 14 日

提供開始(予定)日：2025 年 1 月 30 日

4. 研究目的

β アミノイソ酪酸(β -aminoisobutyric acid, BAIBA)は、アミノ酸のバリンもしくは核酸のチミンの代謝によって生成される代謝産物です。BAIBA は、基礎的実験で抗肥満作用や糖脂質代謝改善作用を有することが知られています。私たちは、ステージ IV のがんの患者さんで長期間病状が安定している方で血中 BAIBA 濃度が高いこと、BAIBA に乳がん由来のがん細胞株の増殖抑制作用があることを見出しました。しかし、BAIBA がヒトにおいてがんの発症や予後と関連するという報告はありません。そこで私たちは、筑波大学附属病院に乳がんで入院された患者さんの中で、入院中の血液の残検体をつくば臨床検査教育・研究センターで保管し、研究に使用させていただくことを同意いただいた患者さんの血液を使用させていただき、入院時の血中 BAIBA 濃度と、その後のがんの経過を観察する研究を計画しました。

5. 研究方法

対象は、2022 年 6 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに、乳がんの治療のために当院に入院した患者さんのうち、つくば臨床検査教育・研究センターが血清サンプルを保管している方で、18 歳以上、かつ、乳がんと確定診断がついているか、入院によって乳がんの確定診断がついた方です。癌の治療開始時点からの全生存期間と無病生存期間とベースライン時(血清 BAIBA 濃度測定のための血清サンプルが採取された時点)の血中 BAIBA 濃度との関連を検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、乳がんのステージ、がんの状態 等

試料：つくば臨床検査教育・研究センターに保管されている血清

7. 外部への試料・情報の提供

血清サンプルは個人が特定できないよう、つくば臨床検査教育・研究センターで管理された ID を付けて、 -20°C の宅配便により東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医学専攻 食と生体機能モデル学研究室に送付され、血中 BAIBA 濃度を含むアミノ酸分画の濃度が測定されます。管理用 ID との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

筑波大学附属病院 松田高明
実践女子大学 生活科学部 鈴木浩明
共立女子大学 家政学部 深津佳世子
東京大学 大学院農学生命科学研究科 伊藤公一

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は科研費基盤研究(C)によって行われます。なお、この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

12. お問い合わせ先

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院内分泌代謝・糖尿病内科 担当：松田高明

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：029-853-3053（平日 8:30～17:15）